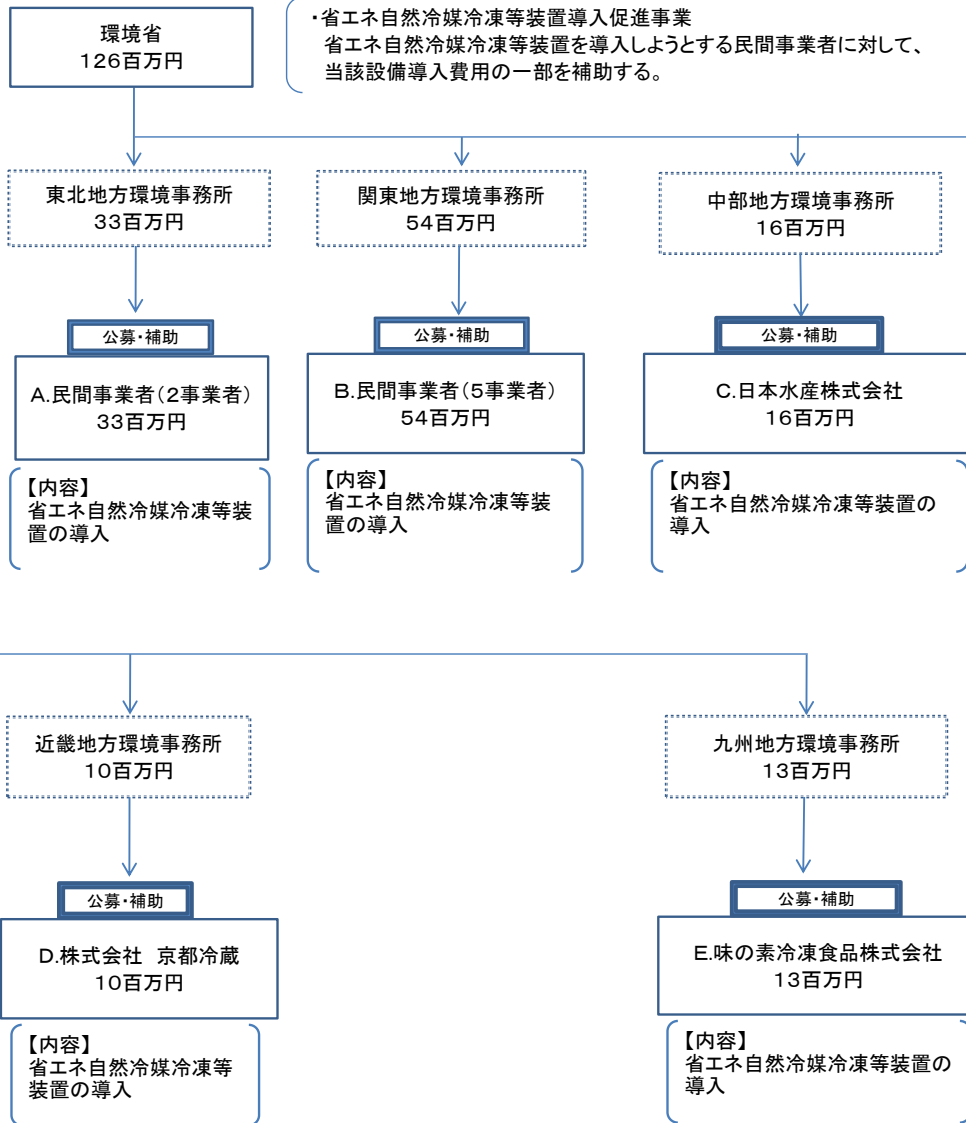


平成23年行政事業レビューシート (環境省)									
事業名	省エネ自然冷媒冷凍等装置導入促進事業			担当部局庁	地球環境局			作成責任者	
事業開始・終了(予定) 年度	平成20年度～平成24年度			担当課室	地球温暖化対策課 フロン等対策推進室			室長 高澤哲也	
会計区分	エネルギー対策特別会計 (エネルギー需給勘定)			施策名	1-2国内における温室効果ガスの排出抑制				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	特別会計に関する法律第85条第3項第1号ハ、 地球温暖化対策の推進に関する法律第3条第3項			関係する計画、 通知等	京都議定書目標達成計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	省エネルギー性に優れ、かつ、フロン類冷媒に比べて格段に環境負荷の少ないアンモニア等の自然冷媒を利用した冷凍・冷蔵・空調装置の導入を進めることによって、使用電力の節減によるエネルギー起源CO2の削減を図るためのものである。また、併せてフロンガスの排出削減を図り、地球温暖化防止を促進させるものである。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	業務用の冷凍・冷蔵・空調設備に関し、自然冷媒を使用した省エネ型の冷凍・冷蔵・空調装置を導入しようとする民間事業者に対して、当該設備導入費用の一部(フロン類冷媒を使用した同等の冷凍能力を有する装置を導入する場合の費用との差額の3分の1)を補助する。								
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☒ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	300	160	160	333	333		
		補正予算	—	—	—	—			
		繰越し等	-50	50	-24	24			
		計	250	210	136	357	333		
	執行額		118	208	126				
	執行率(%)		47	99	93				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (24年度)
	導入省エネ自然冷媒冷凍等装置(累計) によるエネルギー起源CO2削減効果			成果実績	トン- CO2/年	2,900	7,600	10,800	30,000
				達成度	%	10	25	36	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	冷凍倉庫等への導入施設数(累計)			活動実績 (当初見込み)	施設	17	28	39 (20)	— (60)
単位当たり コスト	830 (円/トン-CO2)			算出根拠	平成21年度の補助事業(11事業所)によるエネルギー起源CO2削減量及び冷媒代替による温室効果ガス削減量(CO2換算)は、1施設あたり約1,445トン-CO2/年であるので、耐用年数を12年としたときの削減量の合計は、190,740トン-CO2。 平成21年度の執行金額は158百万円(前年度からの繰越を除く。)であるから、CO2 1トンあたりの削減コストは、約830円。				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内 訳	費 目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金	333	333						
計	333	333							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	・各項目の評価を踏まえた課題や今後の改善の方針 平成23年度は、事業仕分けの結果を踏まえ、現状の補助率を維持しつつ、従来の冷凍倉庫等に加えて、スーパーマーケット等の冷凍冷蔵ショーケース等の導入促進を図るため、予算を増額した。今後、さらに広く省エネ自然冷媒冷凍等装置の導入の加速化を図られるよう、補助事業者に対して、本事業による導入効果等について、会社ホームページへの掲載等による広報の要請・指導を徹底するとともに、スーパーマーケット等導入が遅れている業種への応募動奨を強化する。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	引き続き効率的な事業実施に努めること		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<事業仕分け第3弾> 事業番号・事業名 A-11 省エネ自然冷媒冷凍等装置導入促進事業 WGの評価結果 現状の補助水準を維持 取りまとめコメント 事業について、事業が少ない中ではあるが、少なくとも補助率を3分の1から2分の1に上げるとの予算要求は見直すこととしたうえで、経済産業省の他の予算において対応可能なものがあればそれを十分に活用することとし、現状の補助水準については現状維持を結論とする。			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目
 と使途の双方で
 実情が分かる
 ように記載)

A. 株式会社 阿部長商店			E. 味の素冷凍食品株式会社		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	省エネ自然冷媒冷凍等装置	25	工事費	省エネ自然冷媒冷凍等装置	13
計		25	計		13
B. ヤヨイ食品株式会社			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	省エネ自然冷媒冷凍等装置	18			
計		18	計		0
C. 日本水産株式会社			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	省エネ自然冷媒冷凍等装置	16			
計		16	計		0
D. 株式会社 京都冷蔵			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	省エネ自然冷媒冷凍等装置	10			
計		10	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 阿部長商店	省エネ自然冷媒冷凍等装置設置	25	-	-
2	株式会社 足利本店	省エネ自然冷媒冷凍等装置設置	8	-	-

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ヤヨイ食品株式会社	省エネ自然冷媒冷凍等装置設置	18	-	-
2	株式会社 ニチレイ・ロジグループ本社	省エネ自然冷媒冷凍等装置設置	16	-	-
3	株式会社 石田丸漁業	省エネ自然冷媒冷凍等装置設置	9	-	-
4	株式会社 エフケイ	省エネ自然冷媒冷凍等装置設置	6	-	-
5	フタバ食品株式会社	省エネ自然冷媒冷凍等装置設置	5	-	-

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本水産株式会社	省エネ自然冷媒冷凍等装置設置	16	-	-

D.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 京都冷蔵	省エネ自然冷媒冷凍等装置設置	10	-	-

E.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	味の素冷凍食品株式会社	省エネ自然冷媒冷凍等装置設置	13	-	-